

第 58 回 CDM 理事会傍聴出席報告（速報版）

2010 年 12 月 2 日
社団法人海外環境協力センター

I. 理事会概要

1. 日時： 2010 年 11 月 22 日（月）～11 月 26 日（金）
（公開討議は 11 月 22 日、24 日～26 日に開催）
2. 場所： Cancun Messe（メキシコ・カンクン）
3. 議題：
 1. 理事会メンバーについて
 2. 議題の採択
 3. ワークプラン
 - a) 運営組織の信任手続
 - b) ベースライン・モニタリング計画の方法論
 - c) 植林・再植林 CDM プロジェクトに関する事項
 - d) 小規模 CDM プロジェクトに関する事項
 - e) プログラム活動に関する事項
 - f) CDM プロジェクト活動の登録に関する事項
 - g) CER 発行及び CDM 登録簿（レジストリ）に関する事項
 4. CDM 管理計画及び予算に関する事項
 5. その他 ((a) CMP ガイダンス、(b) プロジェクトの地域偏在に関する事項、(c) DNA との関係、(d) DOE/AE との関係、(e) 利害関係者・各国・NGO との関係、(f) その他)
 6. 閉会



【運営組織の信任手続】

<運営組織（OE）認定>

- ・再認定（有効化審査及び検証・認証）（1 機関）：
 - Colombian Institute for Technical Standards（ICONTEC）（コロンビア）（認定スコープ番号：1、2、3、4、5、8、13、14、15（7：検証・認証のみ））
- ・スポットチェック完了（DOE 資格の継続を容認）
 - Det Norske Veritas Certification（DNV）（英国）
- ・パフォーマンス評価完了
 - Bureau Veritas Certification Holding SAS（BVCH）（英国）
 - Deloitte Tohmatsu Evaluation and Certification Organization Co., Ltd.（Deloitte-TECO）（日本）
 - Japan Consulting Institute（JCI）（日本）
 - SGS United Kingdom Limited（SGS）（英国）
 - TÜV Nord Cert GmbH（TÜV Nord）（ドイツ）

<ガイダンス事項>

- ・「DOE パフォーマンスモニタリング手続 (Procedure on performance monitoring of designated operational entities)」¹を承認。
- ・評価チーム (AT) メンバーのトレーニングワークショップが 2011 年上半期に 2 回開催されることとなった。

【ベースライン・モニタリング計画の方法論】

<承認済み方法論の修正>

- ・修正承認² (9 件) :
 - AM0031 (第 3.1.0 版)、AM0034 (第 5.1.0 版)、AM0070 (第 3.1.0 版)、AM0086 (第 1.1.0 版)、AM0089 (第 1.1.0 版)、ACM0002 (第 12.1.0 版)、ACM0006 (第 11.1.0 版)、ACM0014 (第 4.1.0 版)、ACM0018 (第 1.2.0 版)
- ・修正不承認 (2 件) :
 - AM0055、ACM0007

<ガイダンス事項>

- ・「投資分析評価ガイドライン」(“Guidelines on the assessment of investment analysis”) 改訂案に対するパブリックコメントの受付を決定 (受付期間: 2010 年 12 月 1 日~2011 年 1 月 12 日)。
- ・「ベースライン特定・排出量算定ツール」案 (“Tool for baseline scenario identification and baseline emission calculations”) 改訂案に対するパブリックコメントの受付を決定 (受付期間: 2010 年 12 月 1 日~2011 年 1 月 12 日)。
- ・今後、方法論パネル (MP) にて方法論 (AM0031) 及びツール (廃棄物処分場における投棄廃棄物からのメタン排出量決定ツール、メタン含有ガスのフレア処理からのプロジェクト排出量決定ツール) の改訂作業を進めることを留意。また、新たなツール (嫌気性消化処理からのプロジェクト排出量決定ツール及び廃棄物の嫌気性処理からのプロジェクト排出量決定ツール) の開発を MP にて行うことを留意。
- ・CDM 方法論ブックレット (CDM methodology booklet) について、ウェブ上³にて利用可能である旨の報告が事務局よりなされた。
- ・MP にて検討された AM0001 に関する HCFC22 生産と HFC23 発生について、理事会は MP に AM0001 の修正を要請。また、MP での分析に基づく AM0001 の欠陥の是正並びに EB61 (2011 年 5 月) での報告を要請。また、AM0001 の使用一時停止 (put on hold) を決定⁴。
- ・グリッド関連データが欠乏しているホスト国でのプロジェクト実施の改善を図るため、MP にて「グリッド排出係数算定ツール (“Tool to calculate the grid emission factor”）」の更なる改訂について検討されていたが、次回 MP48 (2011 年 3 月) にて引き続き検討が行われることとなった。

【植林・再植林 CDM プロジェクトに関する事項】

<新規 AR 方法論>

- ・承認 (1 件) :
 - AR-AM0012: “Afforestation or reforestation of degraded or abandoned agricultural lands” (スコープ: 14 (植林・再植林)) <荒廃地もしくは放棄農地での植林・再植林>

¹ 既存の関連ガイダンス類を統合化したもの。

² 修正内容は 2010 年 11 月 26 日 24:00GMT より発効。

³ <http://cdm.unfccc.int/methodologies/documentation/index.html>

⁴ AM0001 の使用一時停止決定は即座に発効 (“with immediate effect”) となっている。

<承認済み方法論の修正>

- ・修正承認⁵（1件）：
 - AR-AM0006（ver.3.1）

<ガイダンス事項>

- ・「AR CDM プロジェクトの炭素貯蔵量、枯死材による炭素貯蔵量変更算定ツール（“Estimation of carbon stocks and change in carbon stocks in dead wood and litter in A/R CDM project activities”）」改訂（ver.1.1）承認。
- ・「AR CDM プロジェクトでのサンプル個数の計測算定（“Calculation of the number of sample plots for measurements within A/R CDM project activities”）」改訂（ver.2.1）承認。
- ・「AR CDM プロジェクト実施に伴う有機土壌内の炭素蓄積量変化算定ツール（the spreadsheet for the “Tool for estimation of change in soil organic carbon stocks due to the implementation of A/R CDM project activities”）」の集計表を承認。

【小規模 CDM プロジェクトに関する事項】

<新規 SSC 方法論>

- ・承認（4件）：
 - **AMS-III.AO. : “Methane recovery through controlled anaerobic digestion”**（スコープ：13（廃棄物処理））<嫌気性消化処理を通じたメタン回収>
 - **AMS-III.AP. : “Transport energy efficiency activities using post – fit Idling Stop devices”**（スコープ：7（運輸））<アイドリングストップ装置を用いた交通の省エネ活動>
 - **AMS-III.AQ. : “Introduction of Bio-CNG in transportation applications”**（スコープ：7（運輸））<バイオ天然ガスの交通への導入>
 - **AMS-III.AR. : “Substituting fossil fuel based lighting with LED lighting systems”**（スコープ：1（エネルギー産業））<化石燃料を用いた電灯から LED 電灯システムへの転換>

<承認済み SSC 方法論の修正>

- ・修正承認⁶（3件）：
 - AMS-III.D（ver.17）、AMS-III.F（ver.9）、AMS-III.H（ver.16）

<ガイダンス事項>

- ・「小規模 CDM 方法論の総合ガイダンス（“General guideline to SSC CDM methodologies”）」（ver.15）改訂承認。（複数 SSC 方法論の組み合わせの PoA 案件への適用を容認）

【CDM プロジェクト活動の登録に関する事項】⁷（プロジェクトの詳細は別添をご参照ください）

- ・登録承認：6件（日本事業者参加案件1件）
- ・修正条件付登録承認：22件（日本事業者参加案件3件）
- ・レビュー実施決定：なし
- ・登録不承認：5件（日本事業者案件なし）

<ガイダンス事項>

- ・戦略的優先課題の一つとして、プロジェクト登録及び CER 発行プロセスの迅速化への改善について

⁵ 修正内容は2010年11月26日24:00GMTより発効。

⁶ 修正内容は2010年12月10日24:00GMTより発効。

⁷ 2010年11月26日現在、2,535件のプロジェクトが登録済。

て検討。プロジェクト登録に関する新手順の運用状況について、事務局に対し、EB60（2011年4月）に報告を要請。

- ・「電力システムの排出係数有効性確認報告書の検討手続（“Procedures for the consideration of validation reports of emission factors for electricity systems”）」案を検討。DNA公表の排出係数をDOEが検証し、更なる有効化審査を省略すること等について、事務局に更なる検討を要請。

【CER発行・CDM登録簿に関する事項】⁸（プロジェクトの詳細は別添をご参照ください）

- ・発行承認：15件（日本事業者参加案件10件）
- ・修正条件付発行承認：5件（日本事業者参加案件2件）
- ・レビュー実施決定：なし
- ・発行不承認：3件（日本事業者参加案件1件）
- ・登録済みPDD修正に伴うCER発行要請変更承認：3件（日本事業者参加案件なし）
- ・以前、発行不承認判定を受けた案件への再申請提出許可：1件（日本事業者参加案件1件）

【その他】

- ・理事会の2011年戦略的優先課題について議論され、合意された。（理事会決定の統合化、プロセスの迅速化、透明性の更なる確保等）
- ・ラテンアメリカ・カリブ海地域対象の地域DNAフォーラム及びトレーニングワークショップが10月10日～12日にドミニカ・サントドミンゴにて開催。第10回DNAフォーラムは11月27日～28日にメキシコ・カンクンにて開催予定。
- ・次回第59回CDM理事会（EB59）は、2011年2月14日～18日、ドイツ・ボンにて開催予定。

⁸ 2010年11月26日現在、456,717,099のCERが発行済。

4. 出席者

網掛部は EB58 欠席メンバー (1名)

出身地域枠	理事 (Member) 【10名】	代理理事 (Alternate Member) 【10名】
国連地域グループ (5地域)	アフリカ Mr. Tahar Hadj-Sadok (アルジェリア/元 UNFCCC 事務局次長)	Mr. Samuel Adeoye Adejuwon (ナイジェリア/環境省 環境評価局気候変動ユニット部長補佐)
	アジア Mr. Shafqat Kakakhel (パキスタン/持続可能な発展政策研究所(SDPI) チーフアドバイザー)	Mr. Rajesh Kumar Sethi (インド/環境森林省 気候変動部部長、インド DNA 事務局)
	東欧 Ms. Diana Harutyunyan (アルメニア/自然保護省自治体暖房・温水供給局、アルメニア DNA 事務局)	Ms. Danijela Bozanic (セルビア/環境・国土計画省気候変動ユニット長、セルビア DNA 事務局)
	ラテンアメリカ・カリブ海 Mr. Hugh Sealy (グレナダ/持続可能な開発委員会 議長)	Mr. José Domingos Gonzalez Miguez (ブラジル/科学技術省 省庁間気候変動委員会 事務局長)
	西欧その他 Mr. Martin Hession (イギリス/エネルギー・気候変動省 国際気候変動・オゾンカーボン市場担当)	Mr. Thomas Bernheim (欧州共同体 (EC) /環境総局)
附属書 I 国 (Annex I)	Mr. Pedro Martins Barata (ポルトガル/環境・都市計画・地域開発省 気候変動委員会 上級アドバイザー)	Mr. Lex de Jonge (オランダ/住宅・国土計画・環境省 CDM ユニット長)
	Mr. Peer Stiansen (ノルウェー/環境省 気候変動上級アドバイザー)	Mr. Akihiro Kuroki (黒木 昭弘 氏) (日本/(財)日本エネルギー経済研究所 理事 地球環境ユニット担当)
非附属書 I 国 (Non-Annex I)	Mr. Philip M. Gwage (ウガンダ/前 水・土地・環境省 気象局)	Mr. Paulo Manso (コスタリカ/環境・エネルギー省、コスタリカ DNA 事務局)
	Mr. Duan Maosheng (中国/清華大学エネルギー経済研究所)	Ms. June Hughes (セントキッツ&ネイビス/保健・環境省)
小島嶼国連合 (AOSIS)	Mr. Clifford Mahlung (ジャマイカ/地方政府・環境省 気象庁)	Mr. Asterio Takesy (ミクロネシア/政府上級顧問 (前 南太平洋地域環境計画(SPREP)所長))

オブザーバー参加者：12名

(文責：家本 了誌)

別添：【CDM プロジェクト活動の登録に関する事項】

【CDM プロジェクト活動の登録に関する事項】

<登録申請・レビュー要請案件（4桁の数値はプロジェクト参照番号）（ホスト国／投資国）[担当DOE]>

- ・登録承認：6件（日本事業者参加案件1件）
 - “Jilin Nongan 50 MW Biomass Power Plant Project” (3102) (中国/英国) [DNV]
 - “Inner Mongolia Bayannaer Chuanjingsumu (III) Wind Power Project” (3447) (中国/英国) [DNV]
 - “Zafarana 8 – Wind Power Plant Project, Arab Republic of Egypt” (3501) (エジプト/デンマーク) [DNV]
 - “Caojie Hydropower Project on Jiangling River in Chongqing City” (3524)⁹ (中国/日本[三菱商事]) [TECO]
 - “Wind Power Project by M/s Chhotabhai Jethabhai Patel & Co. (CJP) at Sinnar, Maharashtra” (3550) (インド) [RINA]
 - “Huaneng Bihhai Wind Farm Project” (3603) (中国/英国) [DNV]
- ・修正条件付登録承認：22件（日本事業者参加案件3件）
 - “Yunnan Kegonghe 10MW Hydropower Project” (3015)¹⁰ (中国/日本[三菱商事]) [TECO]
 - “Xinjian Dabancheng Sanchang Phase IV Wind Power Project” (3107) (中国/スイス) [DNV]
 - “Jilin Longyuan Changling Shuanglong Phase I Wind Power Project” (3122) (中国/スイス) [DNV]
 - “Inner Mongolia Saiwusu I Wind Power Project” (3134) (中国/ノルウェー) [DNV]
 - “Guangxi Longsheng Lejiang Hydropower Project” (3269) (中国/スウェーデン) [LRQA]
 - “Yunnan Wenshan Yanlashan Hydropower Project” (3280) (中国/スイス) [KFQ]
 - “Hebei Kangbao Sanxiatian Wind Farm Project” (3312) (中国) [BVC]
 - “Sichuan Jinyanxi 8 MW Hydropower Project” (3393)¹¹ (中国/日本[三菱商事]) [TÜV-SÜD]
 - “Biogas recovery and Thermal Power production at CITRUSVIL Citric Plant in Tucuman, Argentina” (3192) (アルゼンチン/オランダ) [SGS]
 - “Energy efficient power generation in Tirora, India” (3225) (インド) [SGS]
 - “Hangzhou Huadian Banshan Power Generation Co., Ltd.’s Natural Gas Power Generation Project” (2705) (中国/英国) [DNV]
 - “Kamojang Geothermal” (3028) (インドネシア/英国) [TÜV-Nord]
 - “Tunlan Coal Mine Methan Utilization Project, Shanxi Province, People’s Republic of China” (3067) (中国/英国) [TÜV-SÜD]
 - “Ningxia Rujigou Coal Mine Methane Power Generation Project” (3130) (中国/ドイツ) [TÜV-SÜD]
 - “Malan Coal Mine Methane Utilisation Project” (3180) (中国/英国) [LRQA]
 - “Thermal energy generation from renewable biomass by Amir Chand Jagdish Kumar Exports Ltd.” (3188) (インド) [DNV]
 - “Wayang Windu Phase 2 Geothermal Power Project” (3193) (インドネシア/英国) [TÜV-SÜD]

⁹ 3524 「重慶市嘉陵川草街水力発電プロジェクト」（日本政府承認 2009年12月14日（担当官庁：経済産業省））

¹⁰ 3015 「雲南 Kegonghe10MW 水力発電プロジェクト」（日本政府承認 2009年2月10日（担当官庁：経済産業省））

¹¹ 3393 「四川省金岩溪 8MW 水力発電プロジェクト」（日本政府承認 2008年9月4日（担当官庁：経済産業省））

- “Funing County Gula Township Nalin Hydropower Station” (3212) (中国/スイス) [TÜV-Nord]
 - “SDIC Xiyang Baiyangling CMM to Power Generation Project” (3219) (中国/英国) [DNV]
 - “Suzhou Landfill in Anhui Province Gas Utilization Project” (3260) (中国/英国) [LRQA]
 - “Ningxia Wulan Coal Mine Methane Power Generation Project” (3289) (中国/ドイツ) [TÜV-SÜD]
 - “Trang Palm Oil Wastewater Treatment Project in Trang ” (3335)¹² (タイ/日本[三菱 UFJ 証券]) [JQA]
- ・レビュー実施決定：なし
- ・登録不承認：5 件（日本事業者参加案件なし）
- “Yunnan Youfanggou Hydropower Project” (3082) (中国/英国) [KFQ]
 - “Xinjian Midong Tianshan Cement Co. Ltd’s 1600td Utilization Calcium Carbide for Cement Clinker Project” (3183) (中国/英国) [DNV]
 - “Hunan Shatian Hydroelectric Project” (2799) (中国/英国) [KEMCO]
 - “Siam Cement (Thung Song) Waste Heat Power Generation Project (TS46 Project)” (3262) (タイ) [BVC]
 - “Inner Mongolia Mangniuhai II Wind Power Project” (3465) (中国/スイス) [DNV]
- ・次回 EB59 へ決定先送り（クレジット期間更新要請案件）：1 件（日本事業者参加案件 1 件）
- “HFC Decomposition Project in Ulsan” (0003)¹³ (韓国/スイス・日本[イネオスケミカル]) [DNV]

¹² 3335 「タイ国トラン県における Trang Palm Oil 社 廃水処理プロジェクト」（日本政府承認 2009 年 7 月 21 日（担当官庁：経済産業省））

¹³ 0003 「韓国ウルサン市における HFC 類の破壊事業」（日本政府承認 2006 年 12 月 6 日（担当官庁：経済産業省））

別添：【CER 発行・CDM 登録簿に関する事項】

【CER 発行・CDM 登録簿に関する事項】

＜CER 発行要請・レビュー要請案件（4 桁の数値はプロジェクト参照番号）（ホスト国／投資国）[担当 DOE]＞

- ・発行承認：15 件（日本事業者参加案件 10 件）
 - “HFC Decomposition Project in Ulsan” (0003)¹⁴ (韓国/スイス・日本[イネオスケミカル]) [DNV] (モニタリング期間：2009 年 4 月 1 日～2009 年 6 月 30 日)
 - “Project for GHG Emission Reduction by Thermal Oxidation of HFC23 in Jiangsu Meilan Chemical Co. Ltd., Jiangsu Province, China” (0011)¹⁵ (中国/カナダ・オランダ・イタリア・デンマーク・フィンランド・フランス・スウェーデン・ドイツ・英国・スイス・ノルウェー・スペイン・日本[九州電力・四国電力、中国電力、中部電力、東京電力、東北電力、三井物産・三菱商事・ミットカーボンファンド・JICA (旧 JBIC)]) [SGS] (モニタリング期間：2009 年 9 月 1 日～2009 年 11 月 30 日)
 - “HFC23 Decomposition Project of Zhejiang Juhua Co., Ltd, P.R. China” (0193)¹⁶ (中国/日本[JMD 温暖化ガス削減・日揮・丸紅・大旺建設]) [SGS] (モニタリング期間：2009 年 9 月 1 日～2009 年 11 月 30 日)
 - “HFC23 Decomposition Project of Zhejiang Juhua Co., Ltd, P.R. China” (0193)¹⁷ (中国/日本[JMD 温暖化ガス削減・日揮・丸紅・大旺建設]) [SGS] (モニタリング期間：2009 年 12 月 1 日～2009 年 12 月 31 日)
 - “Shandong Dongyue HFC23 Decomposition Project” (0232)¹⁸ (中国/スイス・英国・日本[三菱商事・新日鉄]) [SGS] (モニタリング期間：2009 年 9 月 1 日～2009 年 12 月 31 日)
 - “Project for HFC23 Decomposition at Changshu 3F Zhonghao New Chemical Materials Co. Ltd, Changshu, Jiangsu Province, China” (0306)¹⁹ (中国/カナダ・オランダ・イタリア・デンマーク・フィンランド・フランス・スウェーデン・ドイツ・英国・スイス・ノルウェー・スペイン・日本[九州電力・四国電力、中国電力、中部電力、東京電力、東北電力、三井物産・三菱商事・ミットカーボンファンド・JICA (旧 JBIC)]) [SGS] (モニタリング期間：2009 年 6 月 26 日～2009 年 9 月 25 日)
 - “Project for HFC23 Decomposition at Changshu 3F Zhonghao New Chemical Materials Co. Ltd, Changshu, Jiangsu Province, China” (0306)²⁰ (中国/カナダ・オランダ・イタリア・デンマーク・フィンランド・フランス・スウェーデン・ドイツ・英国・スイス・ノルウェー・スペイン・日本[九州電力・四国電力、中国電力、中部電力、東京電力、東北電力、三井物産・

¹⁴ 0003 「韓国ウルサン市における HFC 類の破壊事業」（日本政府承認 2006 年 12 月 6 日（担当官庁：経済産業省））

¹⁵ 0011 「Jiangsu Meilan HFC23 熱分解プロジェクト」（日本政府承認 2007 年 4 月 23 日（2008 年 11 月 26 日：JICA）（担当官庁：経済産業省・環境省））

¹⁶ 0193 「中国浙江巨化公司 HFC23 分解 CDM プロジェクト」（日本政府承認 2005 年 11 月 11 日（担当官庁：経済産業省・環境省））

¹⁷ 0193 「中国浙江巨化公司 HFC23 分解 CDM プロジェクト」（日本政府承認 2005 年 11 月 11 日（担当官庁：経済産業省・環境省））

¹⁸ 0232 「山東東岳 HFC23 破壊プロジェクト」（日本政府承認 2005 年 12 月 14 日（担当官庁：経済産業省・環境省））

¹⁹ 0011 「Changshu 3F Zhonghao 化工新材料有限公司 HFC 分解プロジェクト」（日本政府承認 2007 年 4 月 23 日（2008 年 11 月 26 日：JICA）（担当官庁：経済産業省・環境省））

²⁰ 0011 「Changshu 3F Zhonghao 化工新材料有限公司 HFC 分解プロジェクト」（日本政府承認 2007 年 4 月 23 日（2008 年 11 月 26 日：JICA）（担当官庁：経済産業省・環境省））

三菱商事・ミットカーボンファンド・JICA（旧 JBIC）] [SGS]（モニタリング期間：2009年9月26日～2009年12月31日）

- “Destruction of HFC at refrigerant (HCFC-22) manufacturing facility of Chemplast Sanmar Ltd” (0499) (インド/スイス・英国) [SGS]（モニタリング期間：2009年7月1日～2009年12月31日）
- “Cachoeira Encoberta and Triunfo Small Hydroelectric Power Plants – Brascan Energetica Minas Gerais S.A (BEMG) Project Activity” (0520)²¹ (ブラジル/スイス・日本[中国電力]) [BVC]（モニタリング期間：2009年1月1日～2009年12月31日）
- “Project for HFC23 Decomposition at Zhejiang Dongyang Chemical Co., Ltd., China” (0549) (中国/スイス・オランダ・イタリア・英国) [SGS]（モニタリング期間：2009年7月6日～2009年10月31日）
- “Project for HFC23 Decomposition at Zhejiang Dongyang Chemical Co., Ltd., China” (0549) (中国/スイス・オランダ・イタリア・英国) [SGS]（モニタリング期間：2009年11月1日～2009年12月30日）
- “Project for HFC23 Decomposition at Limin Chemical Co., Ltd. Linhai, Zhejiang Province, China” (0550) (中国/スイス・オランダ・イタリア・英国) [SGS]（モニタリング期間：2009年8月1日～2009年12月31日）
- “HFC23 Decomposition Project at Zhonghao Chenguang Research Institute of Chemical Industry, Zigong, SiChuan Province, China” (0767) (中国/スイス・オランダ・イタリア・英国) [SGS]（モニタリング期間：2009年7月26日～2009年12月25日）
- “China Fluoro HFC23 abatement project in China” (1194)²² (中国/スイス・英国・日本[三井物産・東京電力・住友商事]) [SGS]（モニタリング期間：2009年9月14日～2009年12月31日）
- “China Fluoro HFC23 abatement project in China” (1194)²³ (中国/スイス・英国・日本[三井物産・東京電力・住友商事]) [SGS]（モニタリング期間：2010年1月1日～2010年3月31日）

・修正条件付発行承認：5件（日本事業者参加案件2件）

- “HFC23 Decomposition Project of Zhejiang Juhua Co., Ltd, P.R. China” (0193)²⁴ (中国/日本[JMD 温暖化ガス削減・日揮・丸紅・大旺建設]) [SGS]
- “AWMS GHG Mitigation Project BR05-B-13, Goias and Minas Gerais, Brazil” (0419) (ブラジル/スイス・英国) [DNV]
- “GHG emission reduction by thermal oxidation of HFC 23 at Navin Fluorine Intrnational Limited (NFIL), Surat, Gujarat, India” (0838)²⁵ (インド/スイス・フランス・英国・日本[住友商事])

²¹ 0520「カショエイラ・エンコベンタ・トリウンフォ小水力発電所ーブラスカン・エネルギーティカ・ミナス・ジェライス株式会社プロジェクト」(日本政府承認2007年1月12日(担当官庁:経済産業省))

²² 1194「中国山東中気化工科技有限公司の中国に於ける HFC23 分解プロジェクト」(日本政府承認2007年11月16日:三井物産、2008年4月14日:東京電力、2008年5月12日:住友商事(担当官庁:経済産業省))

²³ 1194「中国山東中気化工科技有限公司の中国に於ける HFC23 分解プロジェクト」(日本政府承認2007年11月16日:三井物産、2008年4月14日:東京電力、2008年5月12日:住友商事(担当官庁:経済産業省))

²⁴ 0193「中国浙江巨化公司 HFC23 分解 CDM プロジェクト」(日本政府承認2005年11月11日(担当官庁:経済産業省・環境省))

²⁵ 0838「インド国グジャラット州スラット市、ナヴィン・フッ素化学会社における HFC23 ガス熱破

[SGS]

- “Upgradation, Operation and Maintenance of 200 TPD Composting facility at Okhla, Delhi” (2470) (インド/ドイツ) [DNV]
- “Upgradation and expansion of A.P.M.C. compost plant at Tikri, Delhi” (2502) (インド/ドイツ) [DNV]

・レビュー実施決定：なし

・発行不承認：3件（日本事業者参加案件1件）

- “Hapugastenne and Hulu Ganga Small Hydropower Projects” (0085) (スリランカ/オランダ) [DNV]
- “Quimobasicos HFC Recovery and Decomposition Project” (0151)²⁶ (メキシコ/スイス・オランダ・英国・日本[電源開発]) [TÜV-SÜD]
- “Rialma Companhia Energetica I S/A – Santa Edwiges I Small Hydro Power Plant – Small Scale CDM Project” (0830) (ブラジル/スイス) [BVC]

・登録済み PDD 修正に伴う CER 発行要請変更承認：3件（日本事業者参加案件なし）

- “Shri Bajrang WHR CDM Project” (0528) (インド/スイス・英国) [DNV]
- “Jilin Taobei Fuyu 49.5 MW Wind Power Project” (0544) (中国/英国) [SGS]
- “CEMEX Costa Rica: Use of biomass residues in Colorado cement plant” (1405) (コスタリカ/英国)

・以前、発行不承認判定を受けた案件への再申請提出許可：1件（日本事業者参加案件1件）

- “Indocement Blended Cement Project” (0526)²⁷ (インドネシア/カナダ・オランダ・フィンランド・フランス・スウェーデン・ドイツ・英国・ノルウェー・日本[九州電力・四国電力、中国電力、中部電力、東京電力、東北電力、三井物産・三菱商事・ミットカーボンファンド・JICA (旧 JBIC)]) [TÜV-SÜD] (モニタリング期間：2005年1月1日～2006年10月31日)²⁸

壊による GHG 削減事業」（日本政府承認 2007 年 5 月 10 日（担当官庁：経済産業省））

²⁶ 0151 「Quimobasicos HFC 回復および分解プロジェクト」（日本政府承認 2006 年 11 月 22 日（担当官庁：経済産業省・環境省））

²⁷ 0526 「Indocement 混合セメントプロジェクト」（日本政府承認 2007 年 4 月 23 日（2008 年 11 月 26 日：JICA）（担当官庁：経済産業省・環境省））

²⁸ EB53（2010 年 3 月）にて発行不承認と決定されていた案件。